

# 2026 春

## 《伝道礼拝へのお招き》

5月の伝道礼拝のテーマは「愛」です。

「神は愛なり」（ヨハネ4：16）と聖書に書かれていることは誰もが知っていますが、この言葉がキリスト教の神の愛のイメージを歪めてしまっていると、鋭く指摘したのが、児童文学『ナルニア国物語』の作者であるC・Sルイスです。彼は愛の神と同時に「怖れ」を持つべき存在なのだと、子ども向けの作品の中でも繰り返し描いています。『ナルニア国物語』の第1作である『ライオンと魔女』の中で、衣裳箒箆をくぐって人間界からやってきた少女ルーシーに、ビーバー夫人がこう語りかけています。

「アスラン（ナルニア国の救世主）の前に、ひざがガタガタふるえずに出ていける人がいたら、それは本当に勇気のある人か、さもなければ大ばか者」だと。それを聞いてルーシーは思わず言うのです。

「じゃあ、近よるのは安全じゃないってということね？」

「安全ですと？」とビーバーの旦那。

「あんた、うちのかみさんの言うことをきいていなかったんですかい？だれが安全だなんて言いました？安全だなんて、とんでもない。でも、善い方なんです。まったくの話、あの方は王さまなんですよ」

キリスト教信仰の世界を伝えようとしても日本社会は、「宗教は怖い」と、バリアを張ってしまう「宗教フォビア」の対応か、カルトでも何でも飲み込んでしまう「無防備」の対応か、極端に二極化しがちです。でも「神の愛」を前にして本当に必要なことは、「怖れ（畏れ）」を同時に覚えることです。教会は何とかしてそれを伝えようとしているのです。

今回は神奈川県相武台教会の山口和憲牧師をお招きしてこの問題を聖書から聴きます。先生は荻窪教会の小海牧師の若い後輩に当たります。

あなたも「神の愛」の真実に「怖れ（畏れ）」を持って向き合ってみませんか？

### 5月17日(日) 伝道礼拝 午前10時30分～

「**移り揺らぐことのない愛**」 荻窪教会牧師 **こかい 小海** **もとい 基**



東北学院大学キリスト教学科、東京神学大学大学院修了、  
当荻窪会牧師に就任。1989年～1991年イーデン神学校留学。  
農村伝道神学校講師。小諸いずみ会「いのちの家 LETS」理事長。  
『こどもさんびか』の作曲、『讚美歌21』編集、著書に『聖餐  
イエスのいのちを生きる』（新教 出版社 共著）、『牧師とは何か』  
（日本キリスト教団出版局 共著）などがある。

5月24日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「愛されることより、愛することを」



荻窪教会副牧師 りゅうぐち なりこ  
**龍口 奈里子**

関西学院大学大学院修了後、塚口教会担任教師。  
1985年～ 東京女子大学キリスト教センター宗教主事。  
1993年～ 当荻窪教会副牧師。

5月31日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「愛されていた」



相武台教会会牧師 やまぐち かずのり  
**山口 和憲**

1983年函館市生まれ。東北学院大学、同志社大学大学院を卒業。  
弓町本郷教会、会津若松教会、敬和学園高等学校教員を経て  
現在相武台教会牧師。  
桜美林大学、明治学院大学非常勤講師。  
日本ボンヘッファー研究会会員。  
家族：妻と子（中1）  
趣味：バイク（110cc で自宅から教会へ通っています）、  
歩くこと、鉄道（都会の車窓が好きです）。

【春のコンサートのご案内】

東京バッハ合唱団 第124回定期演奏会

5月30日(土) 14時開演 (定員50名)

カンタータ第20番、第196番、第51番より、第10番

入場無料 (駐車場はありません)

問い合わせ：東京バッハ合唱団 [office@bachchor-tokyo.jp](mailto:office@bachchor-tokyo.jp)